

平成23年6月2日に静岡県掛川市で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

6月2日16時00分頃に掛川市大坂で突風が発生し、屋根瓦の剥離などの被害が発生した。このため3日、静岡地方気象台は職員を気象庁機動調査班として派遣し、現地調査を実施した。

結果は以下のとおりである。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性はあるが、特定には至らなかった。

(根拠)

- ・ 被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ・ 被害は、長さ約350m、幅約50mの帯状に分布していた。
- ・ 被害の発生時刻にゴーという音を聞いたという証言があった。

(特定に至らなかった理由)

- ・ 被害や痕跡から推定した風向からは、竜巻に特徴的な収束性や回転性などの情報が得られなかった。
- ・ 聞き取り調査からも、現象の特定に結びつく目撃情報や証言を得られなかった。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・ 住家の屋根瓦の剥離や落下が複数みられた。
- ・ ビニールハウスの変形があった。

* この資料は、速報として取り急ぎまとめたもので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。

本件の問い合わせ先
静岡地方気象台 防災業務課
電話 054-286-3521